伊野コミュニティセンター広報誌　第67号（R5.2月発行）

いのぼ～るの彼女

伊野－INO－ ～やって未来（みら）こい！ ENO（いーの）暮らし2030～

いのぼ～る

発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072　出雲市野郷町492-5
Tel：(0853) 69-1526　Fax：(0853) 69-1530
E-mail：ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンターホームページ　伊野地区自治協会ホームページ　伊野地区自治協会Facebook　伊野地区自治協会Instagram

―伊野地区の人口―
（R5.1月末現在）
男性…　575人
女性…　622人
合計…1,197人
世帯数…420世帯

伊野・赤名交流事業

～湖遊館でスケートをしよう～ Let's skate

参加者51名　1/29

昨年までスキーや雪遊びで赤名と交流していましたが、今年度は湖遊館でスケート体験会を開催。伊野小と赤名小の児童および家族が参加。お互い初対面でしたが始めにペアでキャッチゲームをして少し距離が近づきました。最後は皆で協力して輪っかくぐりを行い心も体もホカホカに。その後、講師の大福由芽子さん（平田在住）に指導を受けながらいざリンクへ。最初手摺りにしがみついていた児童も慣れてくると大リンクで手離しで滑れるようになりました。スタッフで協力してくれたホッケー部の学生たちとも仲良くなり手をつないで滑ったり、笑顔で並んで滑る子たちもいてとても楽しそうでした。近隣にこんな施設があるのはとても有難いですね。伊野と赤名の交流も深めながら参加者同士この冬ならではのスケートを楽しみました。

3年ぶりに盛り上がった ふるさとかるた大会

参加者32名　1/22

第5回となる伊野ふるさとかるた大会が3年ぶりに開催されました！2名1組のチーム戦。兄弟・姉妹と、仲良しのお友だちと、6組12名の参加がありました。

膝の上に手を置き、読み札をしっかりと聞いて、「はい！」と元気よく絵札に飛び込む子どもたち。ファインプレーには、会場から驚きの声や拍手が起こりました。

表彰式の後は、参加者全員で地域の方に用意していただいた伊野米の美味しいカレーライスを食べました。

優勝　チームたくわ

準優勝　カイリ＆ミイ

3位　サンダードラゴンズ

やって未来こい！通信 続報

参加者親子28名

6/12 世界に一つの石灯籠　教育部会

国富石材の平田さん指導の下、廃材（石材）を使用した石灯篭づくりを開催。好きな形に石を重ねてオリジナルの石灯篭が完成。完成した灯篭はほたるロードに設置しました。

参加者毎回12名程度

6月から毎月1回 シニアのスマホ教室　教育部会

高齢者を対象にしたスマホ教室を初めて開催。講師は山中のえんさん。LINE の使い方や YouTube の見方、自撮りの仕方など、回数を重ねるごとに皆さんどんどんスマホを使いこなしていかれます。今後受講者の皆さんが伊野の情報を発信していくインフルエンサーとして活躍する日も近いかもしれませんね。

8/20 シニアのスマホ教室補習　教育部会

高齢者対象のスマホ教室の補習を開催。講師は地区在住の学生８名。スマホを使いこなすＺ世代とよばれる皆さんに一同はマンツーマンで指導してもらいました。先生となった学生たちも感謝される喜びを感じた様子。ほっこりする光景でした。

これまでの活動の様子を一挙ご紹介します。

参加者71名

6/18 幻想的な光景に感激！ほたる観察会

上伊野農業再生プロジェクトと教育部会および環境保全連合会の共催でほたる観察会を開催。講師は山田和彦さん。金森町内のほたるロードには石灯篭が並べられ、灯篭の灯りとほたるの灯りがマッチし幻想的な美しさでした。

参加者９名

8/20,21 小学生対象プログラミング教室　教育部会

昨年度に引き続き教育部会と一般社団法人チエノワの共催でプログラミング教室を開催。２日に分け９名の児童が「スモウルビー」を使ったプログラミングを体験しました。

参加者６名

9/7~10 国際ワークキャンプ　交流部会

多文化共生のまちづくりを目指すため交流部会が企画。県外の日本人学生4名と留学生2名（中国、マレーシア）が伊野にやってきました。古民家垂水に宿泊しながら伊野小児童との交流や西地合海岸のゴミ拾い、りんごん山整備などのボランティア活動を行いました。

地域おこし協力隊
朝枝尚子（あさえだしょうこ）さん

連載 ―第４回―

朝枝＠協力隊の出雲伊野暮らし

和ハーブのススメ 2月 拡大版

【野生ネギの仲間と中毒注意報】

２月もあっという間に下旬となりました。みなさま１月の寒波は無事に過ごされましたでしょうか。前輪駆動で車高の低い私の車は雪道に弱いのを痛感し、次に車を買い替えるなら四駆にしようと心に決めました。その雪も溶けて、確実に春が近づいているのを感じます。今回は「和ハーブのススメ２月拡大版」というかたちで書いてみましたので、楽しんでいただけたら嬉しいです。

春先におすすめしたい和ハーブが野生ネギの仲間「ノビル」「ニラ」「アサツキ」です。花が咲き始めると葉も固くなってしまいますので葉は今の時期が美味しくおすすめですし、ノビルは地下の球根部分も美味しいです。それぞれつぼみや花も美味しいですよ。たくさん見つけたらしょうゆ漬けやオイル漬けにしてもよいと思います。見分けるポイントはいくつかありますが、先ずは葉の断面。「ノビルは三日月形」「ニラは丸を押しつぶしたような形」「アサツキは丸」。花は説明が難しいので写真をのせます。ノビルとニラの花は似ているようですが、「ノビルの花は夏前でムカゴ付き」「ニラの花はお盆過ぎ」。

そして、野生ネギの仲間と間違われ、毎年食中毒のニュースで登場するのが「スイセンの仲間」です。スイセンは植物全体に毒があり、とくに球根部分には毒成分が多いです。ですが、このスイセンも元は薬用として持ち込まれたもの。そのまま食べれば毒になる成分「ガラタミン」は認知症やアルツハイマー、小児麻痺の治療薬として活用されています。それに何より、スイセンの花の咲く春の風景は本当にきれいですし、甘い香りが私は大好きです。野生ネギの仲間と見分けるときは、必ず香りを確かめてください。花のない時期、独特の香りは一番の見分けポイントです。

植物を観察するときは実際に生えている場所で様子を観察するのが一番です。森の中、田んぼの畔、海の近く、川の近くなど、どんな場所に生えているのか。そして樹木全体、株全体で観察してください。つみとった葉や花、枝だけを見ても印象に残らないからです。それぞれの植物たちが出す雰囲気を感じて、さわって、香りをたしかめて、私はさらにその場でかじってみたりもします。（おすすめはしていませんが…）私が一人、野原で草をかじっているのを見かけても、どうか気にしないでください（笑）

昨年の今頃は娘の高校受験と島根での新生活準備に追われバタバタソワソワの毎日でした。忙しすぎたのか、その頃のことはほぼ記憶喪失状態の私ですが…。受験生のみなさん、無事にこの時期を乗り越えて新しいステップに進まれますように。応援しています!!

ノビルの花

ニラの花

アサツキの花

ニホンスイセンの花

手作りみそを仕込む会

参加者16名

2/1

手作りみそで作る味噌汁の味は格別。手作りみそがあれば毎日の食事が楽しみになる。このたび大人の学び舎ではみそづくりの会を開催。毎年みそを仕込むという食の会の皆さんにご指導いただきながら一人7㌔のみそづくりに挑戦。やわらかく炊いた大豆に大豆の倍量の麹と塩を混ぜ合わせ、それを味噌擂り機にかけてつぶして丸めて完成。半年以上冷暗所で寝かせ熟成させるとおいしいみそが出来上がります。安心安全で手作りのおいしい味噌。半年後が楽しみです。

（自主企画事業　総務部）

コミセン運営委員・事業委員・やって未来こい！ネット
合同視察研修

参加者24名

9/4

奥出雲町三沢地区に視察研修へ出かけました。オクリノ不動産の糸賀さん、NPO法人ともに代表の吉川さん、地域おこし協力隊の落合さんから三沢地区の現状と課題解決に向けた取組、空き家活用についてなど現地を見学しながら1日かけてじっくり学ばせてもらいました。「安心とチャレンジのみざわ」「やってみたいができるまち」をコンセプトに皆さんは活動を楽しんでおられる様子でした。今回の研修で得たことを伊野地区でも活かしていきたいと思います。

＼これまでの活動を紹介します／

「伊野いち」大盛況

6/17　10/21

今年度も２回の伊野いちを開催。伊野いちは新鮮な旬の野菜やお米、海産物などが安く手に入ること、無料おもてなしコーナー、伊野小５・６年生の児童もスタッフとして活躍していることが何よりの魅力。今回も活気に溢れ、大盛況の伊野いちとなりました。

※なお、このたび伊野いち実行委員会の皆様はこれまでの取り組みが評価され「しまね流福祉のまちづくり活動団体」に選ばれ、県知事より表彰を受けられました。おめでとうございます。

幻のちまき しぼづくり体験会

参加者13名

6/26

伊野いちでもまたたく間に売り切れてしまう「しぼ」。この度初めて地区外の方向けにしぼづくり講習会を開催しました。指導にあたるのは伊野いち実行委員会のメンバー。先人の知恵が詰まったしぼ。伝統的な食文化を継承していく良い機会となりました。

＼これまでの活動を紹介します／

放課後子ども教室支援事業
～いのっ子教室～

伊野地区ではいのっ子教室として年間を通して３つの事業を開催しています。小学生を対象に月２回開催している習字教室、長期休業中における小学生の居場所づくりを目的としたいのっ子教室、中学３年生を対象とした受験対策勉強会です。どれも地域の方々に講師やスタッフとしてご協力いただいています。冬休みのいのっ子教室ではステンドグラス風写真立て作りを開催。子どもたちは集中して取り組み素敵な作品が完成しました。

平田高校１年生来館

参加者18名

6/14

平田高校１年２組の生徒が地域協働学習の一環で地域課題について考えようと伊野地区を訪問。未来こい！ネット事務局長である多久和祥司さんより伊野のまちづくりについての説明を受けたあと、古民家垂水や地合漁協を見学。今回得た気づきを今後の活動につなげて欲しいですね。

中山間フィールド演習

島大生5名参加

8/5~10

島大生5名が垂水邸に宿泊しながら伊野での体験活動を経て地域のことを学び、課題解決のための提案を発表。伊野ターン（農漁業体験）、ゲームスペース開設、小学校の魅力化、空き家活用、自然体験活動の促進などを提案し、住民の皆さんとディスカッションしました。その後、彼らは文化祭や子どもマーケット、そばプロジェクトなどにも積極的に参加してくれました。

分散備蓄倉庫完成

災害時における防災用品を収納しておくための倉庫が 12 月に伊野小学校校庭西側に設置されました。中には主に避難所開設時に必要な備品（パーテーションや段ボールベッド、簡易トイレや毛布など）を収納予定です。

伊野ふるさと探訪　Part30　～番外編～

「金刀比羅宮（ことひらぐう）」

西上町内の常松佳男（尺ノ内）氏の東上の山中にあります。由来等はわかっていません。なぜこの地なのかも不明ですが、こんぴらさんは船運の神様で、古くは伊野平を流れる伊野川は湖北一の大河でこの辺りまでは大きな入り江になっていたという伝えがあったことから想像するに、船の留りがこの辺りに有ったかと思われます。また、ここの下には関塀という地名があることからも港のようなものがあったのではと考えられます。

（郷土誌研究会　常松士郎）

季節の花

桃と水仙
シグラメンの苔玉

＼地域の皆様からご寄贈いただきました／

地域の皆様からいただいた手作り作品を紹介します。コミセン玄関に飾ってあります。どうぞご覧ください。

折紙

手芸品

わら草履　かめ

米俵